

事業所名 ここいる

7名/7名中

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			
	2	職員の配置数は適切であるか	7		多職種が連携して支援を行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		利用児童の障害や特性に配慮しています。おもちゃの棚をカーテンで目隠しをしたり(視覚への配慮)、玄関にスロープがついておりバリアフリー化を行っております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		毎日、掃除や清掃、換気などを行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7		気づいたこと、気になったこと、反省、改善等すぐに話せる雰囲気があり、できています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		年に1回の評価を実施し、保護者様の評価や助言を参考に改善点を話し合っています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	事業所内自己評価の結果を話し合っています。職員全員が評価項目をチェック出来るようにガイドラインを参考にしています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5		今後、第三者による外部評価を行うことを検討していきたいです。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		施設内勉強会、施設外研修は会社から補助金が支給されるケースもあります。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		本人、家族、事業所スタッフ、支援機関(相談員等)の情報を集約して作成しています。支援開始時に標準化されたアセスメントツールも使用してみたいとおもいます	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		子どもの特性などを知り、今後の支援の参考にさせていただけるよう専門職が検査をしています。	子どもによってどんな検査をおこなっていくか。保護者様の支援に活かせるような検査を行っていただきたいです。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		発達支援、家族支援、地域支援で示される支援内容からそれぞれのニーズにマッチした支援内容を選択し、定期的に成長をモニタリングしながら行っています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		個々の目標を確認しつつ活動。集団の中でも子どもたち一人一人に合わせて内容を調整して目的がふれないようにしている。毎回記録の振り返りをしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		毎月、現場のスタッフで会議を行い、スタッフ全員で話し合い多職種で意見を出し合っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		子どもが楽しく取り組めるようスタッフがアイデアを出し合っています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	7		子どもたちの発達、姿に合わせて話し合い、その都度合った内容の活動が行えるようにしています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		朝礼の前後にスタッフ間で情報共有をしている。打合せや確認等声をかけ合っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		対象児の様子や評価について共有している。子供の変化については些細なことでも書き留めスタッフ全員で共有できるようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		記録の書き方(着眼点、支援のポイントなど)が各専門職の視点で活かされる、プラス全体での共有ポイントがあればわかりやすいです。記録の視点が様々でそれだいいと思います。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		支援会議の時に情報共有しながらモニタリングを行っています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	相談員さんを中心として各種関係機関と連携を取れるように努めています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	1		現在、対象となる児童がいないため、対象児を受け入れる際には内容を検討していきたいと思います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	1		現在、対象となる児童がいないため、対象児を受け入れる際には内容を検討していきたいと思います。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		担当者会議などを提案して情報共有をしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6		今後検討していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	5	その時の議題に合わせて施設の代表や管理者、児発管が参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		連絡ノートや面談等を通して保護者様に子供の様子や状況を伝えていきます。また毎回の支援後にスタッフがデイの様子を伝えて状況や課題を確認合っています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	6		保護者との面談の中で相談を行っていますが、プログラムを取り上げて話し合う機会を持つとより良いと思います。活動時の様子、目的、生活への活かし方などうまく伝える方法を模索していきたいです。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		保護者からの相談には臨機応変に対応しています。対面、電話、家庭訪問などを行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	6	保護者様の意向を面談や家庭訪問などで確認しながら保護者によりよい方向で支援を深めてまいります。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		ホームページの中で法人全体の活動やお知らせ、職員のブログなどを発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	6		今後は地域の皆様と一緒に参画できることについて検討してまいります。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		それぞれのマニュアルを作成しています。	今後は保護者への周知をHPなどで発信していけるようにしてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		毎月避難訓練(家事、地震、津波のうち一つ)を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		契約時にアセスメントをして確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	契約時や面談時にアセスメントをして確認をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		ヒヤリハットをスタッフ全員に回覧後掲示しスタッフ会議で担当が報告しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		必ず半年に一度以上研修会や勉強会を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		身体拘束は行っていません。	現在、対象となる児童がいないため、対象児を受け入れる際には内容を検討していきたいと思います。